

は じ め に

鳥取県衛生環境研究所は「危機管理対応」、「環境の保全・再生と活用に資する調査研究の実施」、「住民・NPOの環境学習・環境活動の支援」及び「試験検査の信頼性確保と精度の向上」をミッション（使命）に掲げて、県民の安全確保と豊かな環境の確保に向けて業務に取り組んでいます。

中でも、新型コロナウイルスの発生を受け、職員一丸となってPCR検査や全ゲノム解析などに日々対応しているところあり、第7波・第8波の中、県民へ安心・安全を届ける一助になればと思っています。

当研究所は、輸入感染症なども含めた感染症への緊急時対応のほか、精度管理についても、平成18年に認定取得したISO17025や業務管理要領の改訂を控えている食品GLPの運用をはじめ、標準作業書の作成など迅速かつ信頼性の高い試験検査の実施に努めております。

島根原子力発電所等に係る原子力防災対策では、引き続き、平常時には空間放射線量率等の監視や環境試料中の放射性物質等のモニタリングを実施するとともに、緊急時には鳥取県モニタリング本部として、環境放射線モニタリングを一元的かつ総合的に実施することとしております。

一方、環境の保全・再生と活用に資する調査研究では、廃棄物・循環資源のリスク管理のための新規試験法の開発の他、汽水湖であり複雑な湖山池の流動解明、塩分成層による貧酸素水塊の発生など汽水湖化により発生した課題の解決、また、海洋プラスチックごみの流出元である河川のプラスチックごみ実態調査や粒子状大気汚染物質の発生源調査にも取り組んでいます。

また、アフターコロナとなり、施設見学や環境学習への参加が盛んとなり、以前のように大勢の住民の皆さまに来所いただけることを心から願っています。

本年報は、令和3年度に当研究所が実施した試験検査、調査研究業務等を取りまとめたものであります。関係各位の御協力に感謝いたしますとともに、ご一読いただき、皆様から忌憚のない御意見をいただければ幸いに存じます。

今後とも、県民の皆様方のニーズを的確に把握し、常に前向きに課題に取り組み、使命に応えられる衛生環境研究所及び原子力環境センターとなるようより一層努力していきたいと考えておりますので、御指導、御協力をよろしく申し上げます。

令和5年 3月

鳥取県生活環境部衛生環境研究所
所長 若林 健二